

ヘウレーカ!

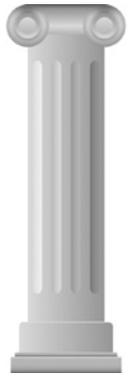
なるほど、そうか

第28回

R&Aが試算する英国におけるゴルフの社会的価値

— 実経済だけでなく健康、精神衛生、社会的価値などを経済的側面からまとめる —

喜田任紀



R & A (正式にはThe R&A)は、ゴルフの経済効果を把握するためにA Satellite Account for Golf in The UKを作成しました(概要は前号を参照ください)。

これは英国政府のスポーツ戦略(Sporting Future)が背景にあって作成されているものです。

Sporting Futureは、英国政府が2015年12月に発表したスポーツ戦略です。副題にはA New Strategy for an Active Nation、活力ある国家のための新たな戦略と記されています。この戦略では、スポーツにおける発展目標を、①身体的健康、②精神衛生、③個人の成長、④社会・コミュニティの発展、⑤経済発展という五つの主要な成果に新たな焦点を当てています。主な活動目的は、子供や若者が最高のスポーツの機会を得て楽しめるようにし、すべての年齢層と社会背景を持つ人々がスポーツと身体活動がもたらす多くの利益を得られるようにすることと書かれています。もちろんトップアスリート支援のためにオリンピックおよびパラリンピックをサポートするUK Sportという部局を設立しています。スポーツ行政を担当するのはデジタ

ル・文化・メディア・スポーツ省(Department for Digital, Culture, Media and Sport)になります。

ここで日本の現状を再確認すると、文部科学省と厚生労働省、経済産業省が参画して文科省に設けられたのがスポーツ庁です。そのスポーツ庁は「スポーツ基本計画」を発表し、現在は第3期計画が進められています。詳細はスポーツ庁のホームページ(https://www.next.go.jp/sports/b_menu/sports/mcate_top01/1st/1372413_00001.htm)から確認をいただくとして、基本的な考え方は英国も日本も同じです。第一に知っておいていただきたいのは、日英で同じようなスポーツ行政が行われているということです。

す。サテライト・アカウントは発展目標の⑤に設けたスポーツによる経済発展を数字で把握するための取り組みです。スポーツ庁もスポーツ全体の市場規模を把握するためにサテライト・アカウントを作成しています。

R & A 試算の社会貢献価値

英国でも、とってよいと思えますが、日本の民営化と護衛船団方式の撤廃は、サッチャー政権の政策影響を受けたものですから、もちろん英国政府はゴルフだけの市場規模把握はしてくれません。だからR & Aが独自に行ったわけです。今紹介するR & Aの「THE SOCIAL VALUE OF GOLF IN THE UK」は、発展

目標に挙げられている①④⑤までを包括的にまとめたものです。ゴルフ経済を計るだけでなくゴルフの持つ社会性についても正しく把握して、国民社会に伝えようということ



です。もちろん国の政策とも合致するものです。前号で紹介しきれませんが、サテライト・アカウントは、社会的投資収益率(SROI)モデルによる測定です。ここからはSROIについて、ChatGPTに聞きました。こういう資料の整理はAIに頼ります。『SROI (Social Return on Investment) は、英国で開発された社会的投資収益率の指標で、社会的な価値を評価するためのツールであり、投資した資金やリソースが社会的な変化や利益をもたらすかどうかを測定する手法。』

SROIは、単に財務的な利益や経済的な成果だけでなく、社会的な効果や環境的な影響など、さまざまな社会的価値を考慮します。これにより、プロジェクトやプログラムが社会的な投資収益率の観点からどれだけ効果的かを評価することが可能になります』とまとめてくれました。

今回のゴルフの社会性についての報告は、SROIモデルによりイングランドのスポーツ団体であるSport Englandが承認した四つのテーマに分けられた以下の16の社会的成果がまとめられています。

身体的および精神的健康 (10項目)

- ・ CVD / 脳卒中リスクの軽減 (対象16歳以上)
 - ・ 乳がんのリスク軽減 (16歳以上の女性対象)
 - ・ 結腸がんのリスク軽減 (16歳以上)
 - ・ 2型糖尿病のリスク軽減 (16歳以上)
 - ・ 認知症のリスク軽減 (16歳以上)
 - ・ うつ病のリスク軽減 (16歳以上)
 - ・ 大腿骨頸部骨折のリスク軽減 (対象65歳以上)
 - ・ 腰痛のリスク軽減 (16歳以上)
 - ・ 健康状態の改善 (16歳以上)
 - ・ ケガのリスク増加 (16歳以上)
- 精神衛生面 (1項目)**
- ・ 主観的幸福度 (生活満足度) の向上 (16歳以上、ボランティア参加者アリ)
- 個人の成長 (2項目)**
- ・ 学力の向上 (11〜18歳対象)
 - ・ 人的資本の強化 (平均追加給与)
- 社会とコミュニティの発展 (3項目)**
- ・ 若い男性 (10〜24歳) における犯罪発生率の低下
 - ・ コミュニティへのソーシャルキャピタルの向上 (社会的ネットワーク、信頼、互惠関係)

・ ボランティアを活用するスポーツ団体の市場価値では測れない価値

評価方法については誌面の都合から、報告書を読んでいただくとして、報告書ではこれまでも紹介してきましたがR&Aとエジンバラ大学などの共同研究による医学的エビデンスなどの文献評価がまとめられています。

この部分は報告書を引用します。

1、身体的健康

ゴルフに関する最も多くの成果分野は身体的健康であり、この分野で入手可能なエビデンスは一般に他の分野よりも強力で堅固です。

2018年、ゴルフと健康に関する国際コンセンサス声明が英国スポーツ医学ジャーナル誌に発表されました (Murray et al., 2018)。

この声明は、ゴルフの健康への影響に関する系統的な文献レビューと、ゴルフ業界の専門家の意見を確認するための3回の調査に基づいて、ゴルフは中程度の身体活動を提供でき、身体的健康上の利点と関連していると結論付けています。さらに、ゴルフへの参加は身体的健康と精神的健康に幅

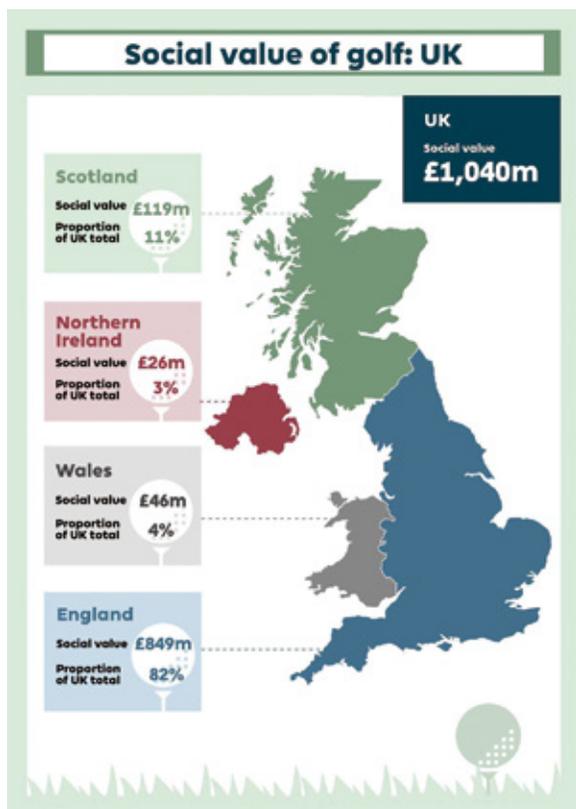
広い利益をもたらすため、政策立案者や自治体はゴルフの促進を支援すべきであると勧告しており、私たちのレビューは、ゴルフが健康関連の生活の質に影響を与える可能性があるという証拠があることを示しています。また、高齢者の死亡リスクを下げる可能性があること。いくつかの慢性疾患に対して予防的な役割を果たす可能性があり、高齢者の認知力やバランス感覚の向上等の利点があります。

文献では、ゴルフが怪我のリスクなど、健康に悪影響を与える可能性への指摘がありますが、これは、ゴルフの身体的健康上の利点に対する認識の高まりと、ゴルフのプラスの効果が増えるというコンセンサスが得られたものと考えられます。ゴルフは人々にとって理想的なスポーツとしても位置づけられます。

また、社会的距離に関するガイドラインに従うことで、屋外で行えるスポーツとして、Covid-19パンデミック時に評価がされました。

2、メンタルヘルス (精神的健康)

ゴルフが身体的健康に与えるプラスの影響を実証する論文の量に比べて、精神的健康への利点を説



明する論文は少なく、入手可能なエビデンスの質もまちまちです。レビューでは、ゴルフが精神的健康に影響を与えると記述しているいくつかの論文を発見しましたが、それらはほとんどが認識に基づく逸話であり裏付けに乏しく、精神的健康の症状や状態への影響を実際に測定したものではありませんでした。ゴルフと精神的健康に関する文献は次の三つのカテゴリーに分類されます。

まず、ゴルフが気分を改善し、特定の精神的健康状態（主にスト

レス、うつ病、不安）を予防するための手段として活用されていると記載されている文献。これらの研究は主に、ゴルフに対する個人の認識と経験を調査する定性的研究に基づいており、特に参加者は、ゴルフが人生の他のストレスから解放される時間を与えたと報告しています。

第二に、既往症を持つ人々のリハビリテーションの一形態としてのゴルフの能力に関するいくつかの文献が見つかりました。メンタルヘルス上の問題や薬物使用に苦

しむ人々、そして介護者を含む認知症患者のメンタルヘルスの改善にゴルフが上手に利用されているという証拠がいくつかあります。

最後に、主観的幸福度（Well-being¹）の尺度としてゴルフと生活満足度の関連性を示す研究が2件あり、そのうちの1件の研究（Michele et al., 2021）では、ポジティブな感情と生活満足度との関連性が非常に強いことが判明しています。

3. 社会とコミュニティの発展

社会的およびコミュニティへの影響に関するほとんどの論文は、比較的少数の参加者による定性的研究または事例研究に基づいています。しかし、この分野で入手可能な証拠は、ゴルフにはコミュニティや友情の発展に貢献する可能性があり、より高いレベルの社会的信頼と関連していることを示しています。私たちのレビューでは、ゴルフボランティアに関する文献にギャップがあることが判明し、この分野の論文はわずか1件でした。それにもかかわらず、この論文は、ゴルフでのボランティア活動が重要な社会的およびコミュニティ開発の成果をもたらす可能性

があり、クラブへの帰属意識と誇りに結びついているといういくつかの証拠を示しています（イングリッドゴルフ、2022年）。

4. 人口統計的側面

ゴルフが一部のグループに与える影響は、他のグループよりも強いという証拠があります。文献は主に男性、55歳以上の高齢者、そして主に退職した人々に焦点を当てています。これらのグループはゴルフをする可能性が高いため、彼らに関する研究が大量に行われることは驚くべきことではありません。特に、身体的健康に関する証拠は、高齢者にとつてのゴルフ、特にウォーキングによる健康上の利点に焦点を当てています。対照的に、子供や若者に関する証拠は不足しています。

ゴルフクラブの会員に関する文献や、短期間のゴルフ介入に参加している人々（通常は以前はゴルフをしていなかった人々）を対象とした研究にも焦点が当てられています。対照的に、「社会的な」ゴルフアーや「カジュアルな」ゴルフアー、つまり定期的にプレーするかもしれないがクラブ会員ではない、または正式にハンディキャ

英国におけるゴルフの社会的価値—身体的および精神的健康

ップを持つていないゴルファーに関する文献は不足しています。おそらく、参加者の「タイプ」が異なれば、ゴルフ参加から得られる恩恵も異なるのかもしれませんが。たとえば、クラブの会員ではない人は、クラブの会員でラウンド後にクラブハウスで交流する人ほど大きな社会的または地域的恩恵を受けられない可能性があります。ただし、身体の健康などの点では、同様のメリットを享受できます。

5、社会的価値の経済的評価

英国におけるゴルフの社会的投資収益率を計算するというこの分野における私たちの以前の研究(SIRC, 2016a)とオーストラリアでの研究を除いて、ゴルフの影響を経済的価値に置く既存の研究は不足しています(オーストラリアゴルフ産業評議会、2017年、ゴルフニューサウスウェールズ州、2021年)。ただし、オーストラリアの研究では健康のみの経済的価値に限定されており、他の社会的成果は重視されていません。

英国におけるゴルフによって予防される健康被害と想定される削減コスト

病状	人数	削減金額 (£)
冠状動脈性心疾患および脳卒中	2,675	19,367,286
2型糖尿病	15,261	62,820,727
乳がん	26	1,434,637
結腸がん	48	2,594,726
認知症	1,167	44,749,980
臨床的うつ病	5,241	1,639,715
MSK (股関節骨折)	923	35,951,045
MSK (腰痛)	23,566	6,473,006
合計	48,907	175,031,122

参考：2023年現在の為替レート1£=181円、調査の2019年時点は140円見当

2019年、英国ではゴルフ参加により約4万9000件の身体的および精神的健康状態の悪化が予防されたと推定されており、これは医療費などのコスト削減に関して1億7500万ポンド相当の効果があったと試算されます。これらの推定値の内訳を症例の種類ごとに表に示します。

報告書によると、ゴルフは一般

的な健康状態の改善にも貢献し、一般の受診や心理療法の利用の減少につながるから、その効果は、2019年は英国内で1650万ポンド相当と評価できるそうです。この結果、ゴルフ参加による健康効果の累計額は、総額で1億9150万ポンド(つまり、1億7500万ポンドプラス1650万ポンド)となります。ゴルフ関連の怪我に伴う推定年間コスト(2250万ポンド)を調整すると、2019年の英国におけるゴルフの正味健康効果は差し引き1億6900万ポンドに達しますとまとめています。

これに加え、精神衛生面では、ゴルフなどの個人スポーツ(およびより一般的なスポーツや身体活動)への参加は、参加者の主観的な幸福度を向上させることが知られており、R&Aの調査結果によると、2019年の英国でのゴルフ参加による福利厚生での価値は4億900万ポンドと推計

され、さらに、ボランティア活動に関連した幸福度の向上のうち、ゴルフは1億7800万ポンドと考えられ、英国におけるゴルフと関連して生み出される主観的幸福価値の総額は5億8700万ポンド(4億900万ポンドと1億7800万ポンドを足したもの)。その他の効果としてゴルフへの参加による個人の成長とより広範なコミュニティの発展への貢献を2億8400万ポンドと推定しています。

少し端折っていますので、是非ともR&Aの報告書をご一読いただきたいと思います。

そしてちょっと、悔しいのですが、医療費効果についてはJGAとスポーツ庁との会議で議題に挙げたことがあります。浮いた医療費のホンの一部をゴルフ振興に使えるものかという欲張りな話でしたね、話は進展しませんでした。提案したグループとしては本心だったのですけど。

R&A「THE SOCIAL VALUE OF GOLF IN THE UK」

